



2013. 10・25.

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイム10月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明

<http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

★第6回 笑顔と感動「KOBEM・未来号・沖縄」の準備始まる

来年で第6回目となります「夢・未来号」プロジェクトが2014年1月11日（土）～12日（日）に於いて実施されます。児童養護施設の児童さんは市内11施設から6年生32名が参加され、引率者、学生ボランティア、主催者側合わせて、約90名前後の参加者が見込まれています。その準備の第一段階として、9月25日（水）～27日（金）の三日間で久利理事長、永塚専務、(株)神戸サンセンタープラザの片岡社長、中村部長、神戸地下街(株)の田近取締役、(財)みのりの公社の箸尾理事長、大西課長、全日空の板倉氏の計7名で沖縄の関係各所24カ所、58名の方々を表敬訪問しました。沖縄県庁では高良副知事、那覇市役所では久高副市長、沖縄タイムスの豊平社長、那覇空港ビルディング(株)の上原会長、花城社長、長濱企業グループ長濱文子会長といった錚錚たる方々です。三日間とは言え、ご挨拶させて頂く関係者の数も多いですから、かなりのハードスケジュールでしたが、迎えて下さる方々の温かい心遣いと笑顔に支えられての訪問でした。神戸と沖縄を結ぶ絆なしにはこのプロジェクトは成功しません。今回もそれを強く感じて、感謝の気持ちで一杯になりながら神戸に戻ってきました。



★インフルエンザの予防接種

今年も2丁目では恒例となりましたインフルエンザの予防接種が**10月15日（火）から来年の1月31日（金）**までの間実施されます（出来るだけ12月中頃までに接種してください）。各組合員3名様まで2丁目振興組合が費用を負担いたします。例年通り、サンプラザの3階にあります竹村クリニックで実施されます。平成13年の予防接種法改正により、インフルエンザは二類疾病に分類されました。二類疾病とは個人予防目的に比重をおいた疾病です。すなわち個人の発病・重症化防止及び、その積み重ねとしての間接的な集団予防を図る必要がある疾病のことを言います。早めに接種を済ませて、身体に抗体ができれば、それだけ早くリスクを減らすことができます。万一、罹患して仕事はもちろんの事、ご家族にも迷惑を掛けるような事になれば一大事です。この機会にどうぞ早めに接種をお願いいたします。

竹村クリニック：サンプラザ3階

☎078-391-3131 診療時間：AM9:30～12:00 PM13:30～16:00

木曜日は午前中のみ ※土曜日は休診

★オニツカタイガー 神戸に関西の新たな旗艦店オープン！

センター街2丁目にフレッシュなお店が誕生しました。その名前は日本生まれのスポーツファッションブランド「オニツカタイガー」。店長の福本様よりメッセージをお預かりしていますので、ご紹介させていただきます。「シューズを中心にアパレル、小物に至るまでこだわりのある商品をラインナップしています。9/14にオープンした「オニツカタイガー神戸」は、関東の「オニツカタイガー表参道」と同様、「古今東西」をコンセプトとしており、ビンテージ感と未来感、東洋と西洋をミックスさせた「オニツカタイガー」ならではのイメージを発信する関西の新たな旗艦店となります」との事です。店構えも本当にオシャレですよ。スポーツシーンが良く合う神戸。きっとあなたのライフスタイルになくてはならないお店になるはず。是非一度お立ち寄りください！



☎078-333-0577 店長：福本 営業時間：11:00～20:00 定休日は原則なし。

★さて神戸は？

10月6日（日）、京都で「琳派400年記念祭プレフォーラム in 京都」が開かれました。本阿弥光琳が家康より鷹峯に土地を拝領して、芸術村を創ろうとした1615年（元和元年）を琳派誕生のスタートと位置づけ、京都ではそれから400年目にあたる2015年にそのエネルギーを京都の再生、発展の起爆剤にし

ようと活動がスタートしています。当日は東京大学名誉教授で文化勲章の高階秀爾氏、同じく名誉教授の



MIHO Museum 館長の辻惟雄氏、コシノジュンコ氏等、錚々たる豪華メンバーによるパネルディスカッションが開かれました。折しも石川県立美術館でも 10 月 14 日まで「俵屋宗達と琳派」展が開かれ、加賀の文化との関わりを探る見応えのある展覧会となりました。日本人の美意識と深く繋がった琳派の研究と、そしてそれを現代の生活の中に取り入れようとする

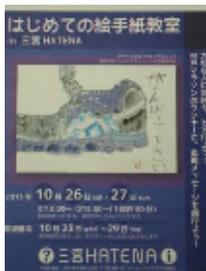
企ては、今後増々盛んになって行く予感のするシンポジウムでした。私達とご縁が深くなっている沖縄は東南アジアの中心地として自らを捉えています。さて神戸は何をその文化の礎に求めるのでしょうか。神戸に来なければ研究が進まないと言われ、高い評価を得ている「南蛮美術」等は日本人の感覚と技術で生み出され、質・量共に最大級のコレクションを誇っています。ハイカラを自認する神戸でもっと注目されても良いのではないのでしょうか。

★ “今年のテーマは SAKU 神戸ビエンナーレ”

2007 年から 2 年に一度開催され、今年で第 4 回目になります神戸ビエンナーレですが、9 月 30 日（月）にその会場の一つであるメリケンパーク会場の神戸ビエンナーレ内覧会へ行ってきました。今年のテーマは“SAKU”です。これには「咲く」、「裂く」などさまざまな意味が込められています。作品的に多かったのは花が咲くイメージの物でした。アートインコンテナはメリケンパーク会場のコンテナ内に作品を展示しています。コンペティションで選ばれた作品を中心に構成され、コミックアート、生け花書道大学作品、文化庁メディア、韓国光州、中国天津展など多くの作品を見て廻りました。同じテーマなのに捉え方が違うので、楽しく鑑賞できました。神戸港海上アート展ではチケット売り場にもグリーンアート展が開かれていました。遊覧船に乗って海上から作品を見ることができました。港と街と山並みが同時に目に飛び込み、作品の背景となって素敵でした。県立美術館や元町の方でも展開されていますので、10 月 1 日～12 月 1 日までの期間中にもう一度行こうと思っています。皆様も芸術の秋神戸で新しい作品を鑑賞されては如何でしょうか。



★絵手紙で伝えよう！ 「感謝と友情」



2013 年 11 月 17 日（日）に開催される神戸マラソン 2013。全国から約 2 万人のランナーが参加され、応募者は 8 万人とも言われています。恒例の大会テーマとして「感謝と友情」をかかげ、震災から復興への感謝を伝え、また、共にあることの友情を確認する機会として、ランナーへの心をこめた「おもてなし」を大切にしており、その姿勢は数多くあるフルマラソンの中でも高く評価されています。三宮 HATENA では心のこもった絵手紙でランナーにエールを送るため、「はじめての絵手紙教室 in 三宮」と題して、10 月 26 日（土）、27 日（日）の両日、HATENA のギャラリー内で一般の方を対象に絵手紙の制作にトライして頂く機会を設けました。出来上がった作品は全ランナーが受付後に来場される会場の「神戸マラソン EXPO」で展示され、ランナーへの熱きメッセージとして注目を浴びるはずですが、そしてここが一番肝心なのですが、絵手紙は「へたでいい、へたがいい」という物で、大事なものは「心を伝える」という事です。「自分は絵が苦手」だからと臆せず、どうぞ多くの方の参加をお待ちしております。



三宮インフォメーション HATENA : ☎078-393-3358 E メール : sannomiya_hatena@nifty.com

★編集後記

先日からの報道で皆さんも御承知でしょうが、なんとも痛ましい事故が起こってしまいました。踏切で倒れていた老人を助けに行った女性が撥ねられお亡くなりになった事件です。全くの他人の為にこれほどの自己犠牲ができるものなのでしょうか？まさしくホスピタリティーの極致です。昨今、マスコミではおもてなしという言葉が取り上げられていますが、今回の事故で浮かんでくる言葉は、思いやりという言葉です。私たちの街も弱者に優しい思いやりのある街にして行きたいものだとつくづく考えさせられました。ご冥福をお祈りしております。